



土皇

かがやき

豊頃町種子馬鈴薯生産組合設立30周年記念式典



令和7年度 農畜産物の作況



デントコーン収穫

5月上旬より播種を開始したデントコーンは、夏季の猛暑の影響により例年より生育が進みましたが、収穫時期を前倒しするなどの対応により作業の遅れもなく、無事に収穫を終えることができました。一方で、圃場内ではガガイモによる浸食被害や、鹿などの獣害による欠株被害が昨年以上に見られました。現在、具体的な対応策について検討を進めておりますが、確立には至っていない状況です。反収は調査時点において6.20t/10a（前年6.25t/10a）と、前年よりやや下回る結果となりました。

牧草収穫

令和7年度の牧草は、冬枯れが比較的少なかったものの、降水量の不足により生育の伸びが停滞しました。6月上旬から開始した1番牧草の収穫作業は天候に恵まれ順調に終了しましたが、収量は例年を下回る結果となりました。また、夏季は干ばつと猛暑日が続いた影響により、夏枯れが発生し草丈の伸長も鈍化したまま開花期を迎えたことから、2番牧草についても例年より少ない収量となりました。反収は調査時点において、1番牧草が1.79t/10a（前年2.05t/10a）、2番牧草が0.80t/10a（前年1.08t/10a）と、いずれも前年を下回りました。



乳用牛の販売動向

乳用牛市場は、育成牛・初妊牛・経産牛いずれの取引価格も前年を上回り、年間を通して回復基調で推移しました。特に、酪農家による「初生オス子牛」の販売価格は回復傾向が見られ、平均価格は5.5万円（前年比177.7%）となりました。また、「交雑種（F1）初生子牛」についても12.2万円（前年比176.9%）と大きく上昇し、価格は全体として改善が見られました。一方、廃用牛については、円安の進行に伴う輸入牛肉価格の高止まりを背景に国産牛肉への需要が高まり、乳用種廃用牛の取引は底堅く推移しました。しかしながら、飼料価格や資材費の高止まりが続いており、酪農経営を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

生乳生産

令和7年度の生乳生産状況（令和7年3月～令和8年2月）は、年度当初より順調に推移しました。7月下旬には暑熱の影響による一時的な乳量低下が見られたものの、9月までの生産実績は前年対比105%と前年を大きく上回りました。また、10月以降についても前年対比101%と、引き続き前年を上回る実績となりました。この結果、令和7年度の累計生乳生産量は71,966トンとなり、前年比103.5%を記録しました。生乳生産目標数量に対しても100.1%で推移し、3年ぶりに7万トンを超える生乳生産実績となりました。

肉用牛の販売動向

黒毛和種素牛の市場出荷頭数は前年を上回り、1,069頭（前年比106.8%）となりました。販売平均価格は、「雌」が61.3万円（前年比127.1%）、「去勢」が70.2万円（同118.6%）と、いずれも上昇傾向が見られました。今年度は、飼料価格の高止まりが続くものの、枝肉価格の回復や需給の改善を背景に、肥育農家の購買意欲は持ち直しの動きが見られ、子牛市場も堅調に推移しました。



小麦収穫

令和7年産は播種期以降の天候に恵まれ、過繁茂傾向で推移しましたが、1月末までの降雪量不足により、低温障害や凍上による断根の影響が懸念される中で融雪期を迎えました。越冬後は、融雪期、起生期の平均気温が高く、生育は平年よりも早く進みました。雪腐れ病の被害は平年と比べやや少なく、概ね順調な生育となりました。5月上旬から6月上旬にかけては、5月下旬の低温の影響により、生育は平年より2日ほど遅く推移しましたが、草丈・茎数ともに平年を上回り、過繁茂傾向のまま幼穂形成期から止葉期を迎えました。6月中旬以降は高温が続き天候が回復したことにより乳熟期における長期的な登熟期間を得られ、平年を上回る収量が見込まれました。しかし、6月下旬の大雨により倒伏圃場が始め収穫までとめどなく広がる状況となりました。収穫期については、7月中旬以降の猛暑により瞬く間に成熟が進み、昨年より1日遅い7月20日から収穫が始まり、序盤は降雨の影響も少なく低水分で順調に進みましたが、7月26日以降は断続的な降雨により収穫が停滞し、最終的に8月1日までの13日間で収穫作業が終了しました。収量は製品反収町内平均11.38俵となり、品質については全量1等Aランクでの調製となりました。



馬鈴薯収穫

本年度は種子馬鈴薯65ha、加工馬鈴薯556ha、澱原馬鈴薯209haの作付となりました。生育期間中は高温に加え降雨が少なかったことで干ばつの傾向が強まり、平年に比べて茎長が短く、塊茎の肥大も小さい状況となりました。収穫作業は8月下旬より開始されましたが、株重量が軽く、1株当たりの芋数も少なく平年を下回りました。特に加工馬鈴薯の晩成品種では、比重が極めて低い結果となりました。品種間の差はあるものの、種子用42.5俵/10a、加工用57俵/10a、澱原用62.1俵/10aとなりました。また、澱粉価は18.8%と平年を下回る結果となりました。

豆類収穫

本年度は、4月からの降雨の影響により播種作業がやや遅れ気味となりましたが、大豆類454ha、小豆類741ha、金時類131ha、手亡類263haの作付けとなりました。出芽は良好で、5月から8月にかけて高温かつ日照時間が多かったことから、豆類全般で生育は平年より早く進みました。大豆類では、平年より登熟期が短かった影響で未熟粒が多発し、品位等級の低下を招きましたが収量が概ね昨年と同様の高水準で推移しました。小豆類では6月末の豪雨や7月以降の猛暑、さらに9月下旬の線状降水帯の発生により収穫作業に大変苦労した1年となりました。金時類では近年の気象変動によって生産性が不安定な状況が続く中、新品種の「秋晴れ」は品質・収量ともに優れ、収穫のしやすい品種として今後の普及が期待されます。手亡類では開花期に猛暑が続いたため着莢不良となり、収量・品質ともに昨年を下回る結果となりました。令和7年度の平均反収は大豆類5.6俵/10a、小豆類3.5俵/10a、金時類3.1俵/10a、手亡類3.6俵/10aとなりました。



ビート収穫

4月下旬より播種・移植作業が始まり、作付面積は374.40ha（うち直播294.36ha）となりました。4月下旬から5月上旬にかけて断続的な降雨により播種作業が大幅に遅れましたが、6月以降は平年より高温で推移し、定期的な降雨にも恵まれたことから生育は回復傾向となり、根部肥大も順調に進みました。また、昨年に引き続き褐斑病やシロオビノメイガなどの病害虫の初発が早く蔓延が危惧されましたが、適切な防除により感染拡大を抑えることができました。令和7年産の結果については、反収6.3t/10a、糖分15.6%と平年を下回り、播種の遅れが収穫まで影響する結果となりました。



農 畜 産 物 取 扱 実 績

小 麦

	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	前年対比
作付面積	ha	1,323	1,347	102%
粗原重量	ト	9,324	9,730	104%
粗原単収	俵	11.74	12.04	103%
製品重量	ト	8,945	9,200	103%
製品単収	俵	11.26	11.38	101%

甜 菜

	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	前年対比
作付面積	ha	354	374	106%
受入重量	ト	26,464	23,576	89%
平均糖分	%	15.4	15.6	101%

馬 鈴 薯

	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	前年対比
＜澱原用＞				
受入重量	ト	12,128	9,667	80%
平均ライマン	%	19.7	18.8	95%
＜種 子＞				
受入数量	俵	39,169	26,988	69%
＜食 用＞				
受入数量	ト	37	26	70%
＜加工用＞				
受入数量	ト	18,459	16,134	87%

豆 類

	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	前年対比
一般大豆	俵	21,523	17,621	82%
光黒大豆	俵	391	356	91%
普通小豆	俵	26,768	22,671	85%
金 時	俵	3,201	2,008	63%
手 亡	俵	9,587	8,358	87%

生 乳

(期間 3月～2月)

	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	前年対比
出荷乳量	ト	69,560	71,966	103%

平 和 地 区	二 里 塚 地 区	統 内 地 区	礼 作 別 地 区	下 農 野 牛 地 区	農 野 牛 地 区	二 宮 西 地 区	二 宮 中 央 地 区	二 宮 東 地 区	長 節・旅 来 地 区	牛 首 別 地 区	茂 岩 南 地 区	幌 岡 地 区	豊 頃 地 区	十 弗 西 地 区	礼 文 内 地 区
太 田 知 文	吉 村 修 一	野 原 隆 弘	安 達 勝	山 口 勉	川 原 三 奈	原 田 芳 史	根 本 貴 行	佐 々 木 英 幸	伊 井 田 慎 一	熊 野 真 登	門 晃 嗣	岡 崎 明 良	山 口 雄 峰	森 将 彦	大 沼 弘 幸

令和8年度
農事組合長

新 人 紹 介

新採用

こ 小 坂 真之介



生年月日 平成15年9月22日
出身校 酪農学園大学
趣味 音楽
所属 農産部 農産課 農産係
抱負 地域の方々との関わりを大切にしながら、信頼される職員になれるよう努力してまいります。まだ至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、一つひとつ学びながら着実に成長していきたいと考えております。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

試用職員
から
本採用

み 翠 賢 弟



生年月日 昭和61年12月23日
前職 ピットオフ西帯広店で乗用車の整備を担当
趣味 オートバイ、キャンプツーリング
所属 経済部 車両課 整備係兼燃料係
抱負 昨年11月からご縁をいただき整備工場勤務をさせていただいております。現在は主に乗用車の整備を担当させていただいております。農機具、トラック等わからないことも多いですが、日々勉強を怠らず成長していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

準職員
からの
登用

は 原 健 太



生年月日 平成4年8月14日
前職 農業資材卸商社
趣味 音楽鑑賞、キャンプ
所属 経済部 購買課 購買係
抱負 入組して2年目を迎え、このたび正職員として働かせていただくことになりました。前職では農業資材の卸売業に携わっており、資材品に関する知識や現場の声に触れてきました。その経験を活かし、組合員の皆様のお役に立てるよう努めていきたいと考えております。まだまだ勉強中の身ではありますが、明るく丁寧な対応を心掛け、信頼される職員を目指してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

準職員
からの
登用

く 工 藤 綾 乃



生年月日 平成8年4月3日
前職 とよころ農業機械センター
趣味 特にありません
所属 経済部 購買課 燃料係
抱負 4月から正職員として採用されることとなりました。まだ至らない点も多く組合員の方々にはご迷惑をおかけすることも多々あるとは思いますが、精一杯努力してまいりたいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

準職員
からの
登用

ほ り 堀 田 隼 哉



生年月日 平成10年3月19日
前職 堀田作工株式会社
趣味 バイク
所属 経済部 購買課 購買係
抱負 前職では型枠大工をしていました。職種は異なり0からのスタートとなりますが、幅広い分野にもチャレンジし、皆様のお力になれるように精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

新採用
(準職員)

な り 成 田 綾 乃



生年月日 平成8年3月29日
前職 豊頃町乳牛検定組合
趣味 映画鑑賞、Mリーグ観戦
所属 農産部 農産課 施設係

これからの活躍に
ご期待ください



ミセス部会 やさしくなでて

女性部



ミセス部会（部会長 安藤千里）は、肩・首・腰の痛みを和らげたいなあ、自宅でも簡単にできるセルフケアはないかなあとの思いから「簡単！肩・腰らくらくリンパケア講座」を十勝ガイドで見つけ、これなら部員も参加しやすいのではと早速講師の松井千秋さんに連絡し、12月12日リンパケア講座を開講しました。

当日は部員22名が参加。全員と言っていいほど肩・首・腰に痛みがある方ばかり。痛いとすぐ「押したり」「揉んだり」

「叩いたり」をしてしまいますが、松井先生曰く、優しくなでるだけ。自分の体に「頑張ったね」といいながら優しくなでていたわってあげてほしい、筋肉が緊張しているため優しくなでてほしいと。始めは全員半信半疑ながらもみんなで首から腕、手の甲までを優しく、優しくなでました。何回か繰り返し行ってみたところ「手の甲が白い」「肌がふわふわ」と自分の体に変化していることに気づきました。頬～首～胸に触れながら胸を開くように呼吸をする。を基本に筋肉を緩めて、さっきより痛みが楽になったことを確認しながら、継続して優しく優しくなでているうちに痛みが消えていくことも。松井先生の丁寧な指導で部員一同体に変化が。「肩が軽くなった」「足が軽い」と驚きっぱなしの2時間でした。



すみれ部会 スポーツ交流会新年会

1月13日、すみれ部会（部会長 加藤京子）は、冬場の運動不足解消と新年の顔合わせを兼ねて、部会員23名でスポーツ交流会と新年会を行いました。

今年もモルックで一汗流そうと、豊頃町社会福祉協議会の方においてモルックミニ大会を開催しました。モルックは、ルールがとてもシンプルですが、思ったところに当てるのが意外に難しく、狙ったスキットルにきれいに当てられた時の爽快感が大きく一気にテンションが上がり会場が盛り上がります。

「どの数字を狙う？」「何本倒せばいいの？」などチームで相談や計算をしながら行うのでちょっとした脳トレ？です。体を激しく動かすわけではないのでリフレッシュするにはちょうどいい運動になりました。

お昼はみんなでお弁当を食べながら久しぶりに会う仲間と和気あいあい。ビンゴ大会では物価高騰ということもあり、何かみんなが使えるものを景品にしようと考え、日用品を景品にし、みんなで大いに盛り上がりました。すみれ部会は、今年も元気に楽しく活動をしていきたいと加藤部会長のしめの挨拶でこの会を閉じました。



三部会合同交流会

そばを打つのは大変!でも楽しかった

1月28日、「すみれ部会」「ミセス部会」「フレッシュミズ部会」が合同でそば打ち体験をひだまり交流館で行いました。

今回は、「そばリンク十勝」に加入している豊頃町在住の中野秋子さんに講師を依頼。参加人数が26名と伝えたところ「私一人ではできないのでそばを打っている仲間に声をかけます。」と各地から7名の先生方（遠くは清水町から）が私たちのために、雪が降り道路状況の悪い中来てくださいました。

7つの班に分かれてそば打ち体験スタート。水の加減でそば粉の固まりかたが違い、やさしく混ぜたり、時には全体重をのせてこねたりと色々な工程がありました。昼食は、事前に中野さんが作ってくれたそばをかけそばでいただき、先生方とそばについていろいろとお話をしました。そば打ちの難しさと奥深さを知り食の大切さを改めて実感した一日となりました。ぜひ自宅でもチャレンジしてほしいです。

悪天候の中、豊頃まで来てくださりありがとうございました。



ミセス部会

部会集会並びに講座

2月10日、ミセス部会（部会長 安藤千里）は部会集会並びに講座を行いました。午前は米粉を使用してお菓子作りをしました。講師に藤田由美子さんをお招きし「きなこのスノーボール」「米粉の黒豆抹茶蒸しパン」の2種類を2時間で作るという事で、事前に講師の方が人数分の材料を量って小分けにして持参していただき、当日スムーズに進むようにご配慮していただきました。米粉は小麦粉と違い固まりづらく、丸めるのに大きさがバラバラになったり、崩れたりと悪戦苦闘しながら作りました。蒸しパン作りは生地が柔らかくケースに入れるのが難しかったです。出来上がったばかりの蒸しパンはとてもおいしく熱々でした。きなこのスノーボールもサクサクして少し塩味がしておいしかったです。出来上がったお菓子をみんなで分けて持ち帰りました。

午後から部会集会を行い、無事承認を得ることができました。



豊頃町女性部3団体交流会

ワインが出来るまで



2月21日、豊頃町農協・漁協・商工会の女性部との交流会が行われました。担い手協議会が中心となり、当JAから20名（子供4名）が参加し総勢26名で池田町にあるワイン城を見学しました。見学コースでは、職員の方に案内していただき、その中でDREAMS COME TRUEの吉田美和さんにワインの名前（未来・銀河）を付けてもらったというお話がありました。未来は赤ワインで「me, rise」という名で昨年販売し、ドリカムファンからの支持を受け即完売したとのことでした。普段は柵の外からしか見学できない地下熟成室では、熟成樽のそばまで行って見学ができました。ビンテージワインも

保管してありましたが販売はしておらず、池田町長の許可がないと使用しないとのことでした。また、ブレンダー蒸留室もあり、ワイン城ではたくさんの種類を製造し、販売していました。

昼食は4階のレストランで十勝牛ステーキを堪能しながら、同じ町内で働く女性同士和気あいあいと楽しく過ごしました。また、自分の好きな写真や絵をワインのラベルにできるということで事前に各自で素材を準備し、赤・白・スパークリングなどの中から好きなワインを選び、世界に一つだけのオリジナルワインが出来上がるのを楽しみに帰路につきました。



定期総会

3月9日、農協本所大会議室において第71回JA豊頃町女性部定期総会を開催しました。

役員8名、代議員43名、来賓4名に出席していただきました。

相澤賀南子部長は冒頭「今年度も、町のバスを各部会活動で使用し、また

施設を利用したりと多方面でお力添えをいただきこの場を借りて感謝申し上げます。部員のみなさまには女性部活動に協力、理解いただき心より感謝しています。」と述べ、按田町長・山口組合長・普及センター十勝東部支所 大平支所長より祝辞をいただきました。

議長には、二宮地区 愛澤忍さん・二宮地区 根本留美さんが選出され議事に入りました。令和7年度事業報告・収支決算、令和8年度事業計画・収支予算案、役員改選の全議案を賛成多数で可決しました。

総会終了後、とかち広域消防事務組合豊頃消防署から2名の講師を招き、「地震から身を守るために」という防災講座を開き、日頃の対策や非常食の準備などについて聞きました。まずは、家庭内の備蓄や避難経路を確認し、周りと一緒に防災意識を高めていきたいと改めて思いました。



生き甲斐部

温泉で交流深める

1月13日、生き甲斐部（部長 永原初男）は十勝川温泉観月苑において新年会を開催し、部員14名と来賓、事務局を含む総勢19名が出席しました。

開会の挨拶で永原部長は「人生100年時代と言われる中、今後も多くの皆さんに生き甲斐部の活動に参加していただき、楽しんでいただきたい」と述べました。その後、山口組合長の乾杯の発声で会がスタートし、余興では農協や生き甲斐部に関するクイズ大会を実施。今年度の行事に関する出題で、この日参加した部員の中から正解を選ぶ三択問題では、ご本人たちが不正解になるなど予想外の展開もあり、会場は大いに盛り上がりました。4チーム中3チームが10問中5問正解と大接戦のなか7問正解のチームから順に景品が贈られました。続く二次会は門常務の乾杯の発声で始まり、来賓が帰られた後も深夜まで交流を楽しみ、盛会のうちに会は終了しました。

翌朝は車を暖機している間に売店へ立ち寄り部員の姿も多く見られ、中には「お土産を買わないと母ちゃんに怒られる」と話しながら真剣に品物を選ぶ場面もあり、終始温かな雰囲気の新年会となりました。



組合長杯ゲートボール大会 冬の運動不足を解消!

2月17日、豊頃町高齢者健康増進センターにおいて第13回農協組合長杯ゲートボール大会を開催し、生き甲斐部部員およびゲートボール協会会員、総勢22名が参加しました。参加者は抽選により5チームに分かれ、各チーム2試合ずつ行い、得失点差で順位を決定しました。ゲートボールは高度な戦術とチームワークが求められる競技で、初心者生き甲斐部部員には少々難易度が高い様子も見られましたが、敵味方関係なく周囲からアドバイスを受けながら楽しくプレーしていました。

閉会式では、川口修専務が「体力づくりをしながら健康に気をつけ、これからも楽しくゲートボールを続けてほしい」とあいさつしました。

参加者全員にトイレットペーパー12ロール入りと牛乳、3位までのチームに家庭用品を贈呈しました。大会開催にあたりご協力いただいた協会の皆様、ありがとうございました。

優勝チーム 高井慧子さん・山本和雄さん・菊池末子さん・山崎節子さん・生き甲斐部事務局



冬季下り線ブロック 交流会 & 懇親会

エネルギー
青年部



JA YOUTH

1月16日、幕別町の札内スポーツセンターにて、札内農協青年部主催のミニバレー大会を開催し、豊頃町農協青年部から部員5名が参加しました。

当日は、各青年部（札内・幕別・浦幌・豊頃）から1名ずつ選出し、チームを編成したことで、最初は連携に苦労したものの、試合を重ねるごとにチーム内で声を掛け合いながらボールをつなげていました。

交流会終了後は帯広市内の居酒屋にて懇親会を行い、下り線ブロックの盟友同士、絆が深まる1日となりました。



学びと交流が深まる1日

1月29日、青年部畜産部会・畑作部会合同による冬期講習会・スポーツ交流会を開催しました。

冬期講習会では、株式会社十牛の畠山氏を講師に招き、「次世代リーダーのための農業経営学」について受講しました。経営学の知識について、初学者が聞いてもわかりやすい内容で講義していただき、受講内容について部員から活発な質疑がある大変実りある講習会になりました。



スポーツ交流会は、帯広市にてボウリング大会を開催しました。1チーム4名、計4チームで合計のスコアを競うルールとし、チーム同士で協力し合いながら交流することで懇親が深まりました。最後の投球まで順位がわからない大接戦となり、参加者一同大いに盛り上がる交流会となりました。

スポーツ交流後、帯広市内にて懇親会を開催し、ビンゴゲームなどの催しも交えながら懇親し、盟友同士の結束が深まる1日となりました。

身も心もホッと温かく



2月15日、豊頃町総合プロモーション推進協議会開催の「カッチコッチ祭り」に農協青年部から7名が参加しました。

実行委員長の村上青年部長より開催宣言をし、祭りが始まりました。祭り中、来場者は宝探しやスノーフラッグ、スノーモービルなどのイベントで楽しみました。

また農協青年部から来場者にホットココアの無料配布を行い、「甘すぎず美味しい」「体があったまる」など好評の声をいただき、用意したココアもすべて配布しました。

冬の厳しい寒さを忘れ、身も心も温まる祭りとなりました。

青年部 定期総会

3月6日、農協本所大会議室において第57回JA豊頃町青年部定期総会を開催しました。

村上部長の開会挨拶につづき、按田町長、山口組合長、十勝地区農青協議会 稲屋会長より祝辞を賜りました。

議長に統内地区より按田将利さんを選出し議事に移り、令和7年度事業報告・収支決算、令和8年度部費の賦課方法、事業計画・収支予算案、役員改選の全議案を賛成多数で可決しました。

村上部長は冒頭「今年度は盟友数が減少しているなか、あずき茶の販売活動等、新たな活動に取り組むことができた。今後の青年部活動のためにも、本総会では活発な議論を交わしていただきたい。」と述べました。

新役員体制

部 長	加 島 知 典	(前書記長)
副 部 長	門 伸 洋	(前畜産部会長)
書 記 長	岡 光 祐 樹	(前畑作部会長)
畜産部会長	按 田 将 利	(新任)
畑作部会長	伊井田 拓 実	(新任)
監 事	村 上 剛 丸	(前部長)
監 事	井 下 慎 吾	(前副部長)



令和7年度 第48回豊頃町麦作振興会通常総会

2月16日、令和7年度第48回豊頃町麦作振興会通常総会が開催され、41名の会員が出席しました。議案第1号「令和7年度事業報告・収支決算」から議案第4号「役員改選」までの全4議案について審議し、いずれも賛成多数で可決されました。

原田二次雄会長は冒頭、「今年度は皆さんの努力の賜物でここ近年ない収量となりました。しかし、価格が低迷しており、生産者にとって実入りとなると疑問が残るところです。それでも、皆様の努力で俵数は伸び、良い年であったと思います。今後も厳しい状況が続きますが、今日の総会でさまざまな意見をいただき、豊頃町の小麦生産のさらなる発展



につなげていきたい」と述べました。

総会終了後には、十勝農業改良

普及センターより令和7年度の振り返りと、令和8年度に向けた講習が行われました。

なお、役員改選の結果は表のとおりです。

豊頃町麦作振興会

会長	按田吉久
副会長	木幡豊
副会長	原田二次雄
理事	福田真之
理事	片山昇一
理事	山本孝
理事	愛澤利憲
理事	植村有見
理事	太田知文
監事	米田圭一
監事	山崎浩道
監事	松崎哲也



令和7年度 第48回豊頃町加工馬鈴薯生産組合通常総会

2月19日、令和7年度第48回豊頃町加工馬鈴薯生産組合通常総会を開催しました。議案第1号令和7年度事業報告等に始まり、議案第3号会費の徴収について、全3議案を審議し、全議案賛成多数で可決しました。令和7年度の事業報告では年間の経過報告のほか、組合活動において管外視察研修や役員道外研修を行ったほか、カルビー表彰式において、優良生産者部門に組合から神谷農産株式会社を選出されたとの報告がされました。



総会終了後はカルビーポテト(株)より栽培技術講習会を行いました。

第50回豊頃町種子馬鈴薯生産組合通常総会 並びに 設立50周年記念式典を開催

3月25日、第50回豊頃町種子馬鈴薯生産組合通常総会並びに設立50周年記念式典が開催され、組合員13名が出席しました。総会では、議案第1号「令和7年度事業報告および収支決算」から議案第3号「令和8年度会費について」までの全3議案について審議が行われ、いずれも賛成多数で可決されました。

引き続き行われた設立50周年記念式典では、植村有見組合長があいさつに立ち、「現在、私たちは著しい気象変動という、これまでの経験則を超える新たな試練の中にあります。しかし、かつての逆境を団結力で乗り越えてきた私たちには、それを克服する力があると確信しています。今後はこれまでの知恵に最新テクノロジーを融合させ、変化に適応する新たな農業の形を模索してまいります。」と述べ、今後の決意を示しました。

同日17時30分からは懇親会が開かれ、生産者や来賓、事務局を含む21名が参加しました。出席者は、これまでの50年の歩みを振り返るとともに、今後の組合運営や地域農業の発展について活発に意見を交わし、親睦を深めました。

なお、設立50周年記念誌は、後日生産者へ配付される予定です。



【設立の志：団地化による生産基盤の確立】

本組合の歩みは、昭和51年に幕を開けました。当時、久保・農野牛・十弗・統内の4地区に散在していた採種ほ場を、十弗・統内両地区へと集約・団地化する際、組織的な生産体制を構築すべく設立されました。

その背景には、地域農業の柱である畑作経営を支えるため、「無病健全な優良種子の安定供給」を実現し、さらに「共同選荷場による機械化と規格の統一」を図るという確固たる信念がありました。この先達の志は、設立から半世紀を経た今日の組合運営においても、揺らぐことなく脈々と受け継がれています。

<設立50周年記念誌「50年のあゆみ」より抜粋>

%%%

和牛生産改良組合 定期総会を開催

第38回豊頃町和牛生産改良組合定期総会は、3月30日付で書面議決により開催しました。

当日は組合員の皆様からご提出いただいた書面に基づき審査を行いました。その結果、議決権行使書の提出は12通となり、各議案につきましては、議案第1号「令和7年度事業経過報告、収支決算報告等」から議案第8号「優良遺伝子普及事業（案）」について」まで、すべて原案どおり承認されました。

防犯講座を実施



2月20日、農協2階会議室にて職員を対象に身の回りの危険に関する防犯についての講座を開催しました。講師に池田警察署より3名を迎え、カスタマーハラスメントについて、事前準備の方法や、起きた場合にどのように対応することが効果的か等の説明がありました。

その後、オウム真理教の後継団体についての説明や、ホワイトアウトによる交通災害、近年増加しているSNSを使用した詐欺についての注意喚起を受けました。

地区別懇談会開催



2月24日から26日までの3日間にわたり、令和7年度第2回地区別懇談会を開催し、令和8年度の重点施策や業務内容について説明いたしました。

参加された組合員の皆様からは、活発なご質問やご要望、貴重なご意見をいただき、実りある懇談の場となりました。

お寄せいただいた質問およびご要望につきましては、3月25日付でJAコネクトにて配信しております。

設立50周年を迎えた豊頃町種子馬铃薯生産組合の30周年記念式典（平成18年2月開催）で撮影された一枚です。

同組合は、設立当初24戸、作付面積80haでスタートしましたが、30周年時には14戸と半数近くまで減少し、作付面積も一時は60haまで縮小しました。

しかし、その後は生産者の皆さまのたゆまぬ努力により、50周年を迎えた現在では戸数こそ減少しているものの、再び設立当初に近い規模まで回復しています。

こうした歩みを重ねながら、同組合は現在も豊頃町の馬铃薯生産を支え続けています。

